

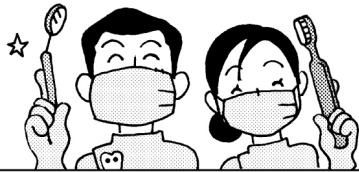
6月16日（木）は、歯科検診（全学年）があります。

学校歯科医の岩間彰宏先生に、むし歯の有無のほか、歯ぐきの様子やかみ合わせなどについても調べていただきます。



歯科検診で気を付けること

- ☆ 朝、必ず歯みがきをしましょう。
- ☆ 図書室で検査をします。入室前に手指を消毒しましょう。待っている間は、静かに待機し、検診が始まる直前までマスクを着用していきましょう。
- ☆ 歯科医さんの話す内容を理解すると、自分の歯の様子を知ることができます。歯科医さんが「話している言葉」をしっかりと聞いてみましょう。



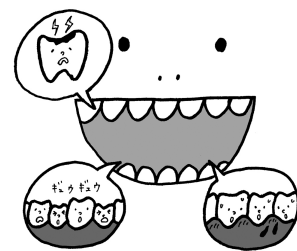
何て言ってる？ 歯科検診

歯科検診用語の意味を知っておこう♪

<p>/ 現在歯</p> <p>治療の必要のない健康な歯</p>	<p>CO 要観察歯</p> <p>むし歯になりそうな歯</p>	<p>C むし歯</p> <p>治療が必要なむし歯</p>	<p>O 処置歯</p> <p>治療の済んでいる歯</p>
<p>GO 歯周疾患要観察者</p> <p>歯肉に軽度の炎症がある</p>	<p>G 歯周疾患罹患患者</p> <p>治療が必要な歯周疾患</p>	<p>△ 喪失歯(永久歯)</p> <p>永久歯がなくなった状態</p>	<p>X 要注意乳歯</p> <p>抜くかどうか相談が必要な乳歯</p>

歯科検診の前にセルフチェック！！

- 歯並びやかみ合わせの具合が悪い。
- 歯ぐきが腫れたり、ぶよぶよしたりしている。
- 歯みがきをすると、出血することがある。
- 臭が気になる。
- 歯が茶色くなっている。



* 歯科検診では、感染予防対策のひとつとして、ミラーを2本使用して検診（ダブルミラーといいます）を行います。

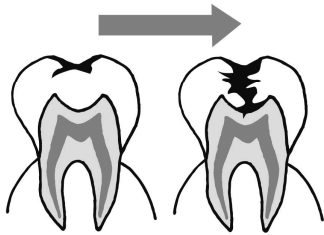
歯科検診で見付かる主な病気

むし歯



ミュータンスという細菌は、口の中の糖を分解して歯こうをつくります。その歯こうから酸が発生し、歯を溶かすことで起こります。歯こうがたまりやすい場所はむし歯がしやすいので、念入りにみがきましょう。

C0～C4までの段階があり、数値が大きいほどむし歯が進んでいます。



歯周病



歯と歯ぐきの間にとまった細菌によって、歯ぐきが炎症を起こしている状態です。進行すると骨が溶けてしまいます。むし歯と並んで歯を失う主な原因の一つです。

自分では気付かないうちに悪化しやすい病気です。予防のために、歯と歯ぐきの間も丁寧にみがく習慣を身に付けましょう。

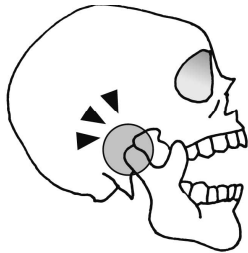


顎関節症



口を開けたり閉じたりするときに、ガリガリ、コキンという音がしたり、口を大きく開けることができなくなったりする病気です。

かみ合わせの悪さのほか、歯ぎしりやストレスなどが原因になることもあります。



歯列不正



歯並びやかみ合わせがよくない状態のことをいいます。むし歯になりやすかったり、日常生活に支障が出る場合もあるので、歯科で診ていただきましょう。



むし歯や歯肉炎は、放っておくと、どんどんひどくなります。

治療のお勧めを受け取った人は、早めに歯科医院に行って、治療を受けるようにしましょ



歯ブラシ選び



小さめの歯ブラシを選ぼう

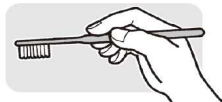
毛先が
ひろがって
いたら
替えましょ

歯みがき粉のつけ方



歯ブラシの2分の1くらいでオッケー

歯ブラシの持ち方



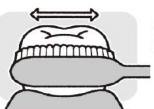
えんぴつを持つように軽く

毛先の当て方



歯の面にまっすぐあてます

動かし方



力を入れずにこちょこちょと細かく

みがく時には



1本1本でいいいに

みがき終わったら



ツルツルになったか舌で確かめよう

101
〜
20
回が目安